

# 日本におけるシリア難民の 保護・受入れ



©JAR

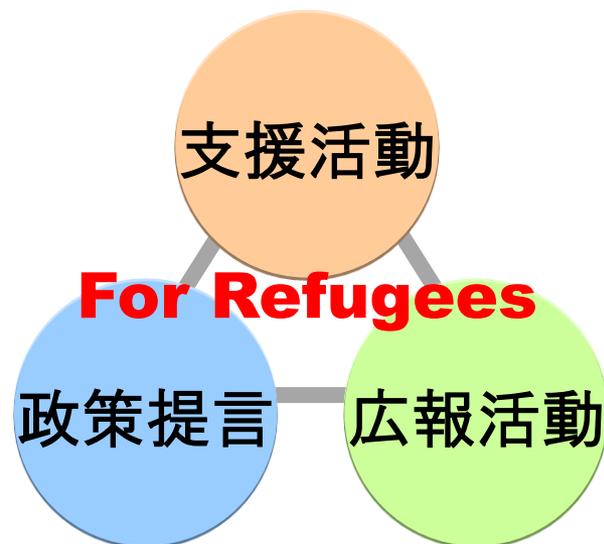


認定NPO法人 難民支援協会  
代表理事 石川えり

# 難民支援協会＝JAR

私たちは、日本の難民が、  
食べたり、寝たり、  
働いたりする、  
そんな当たり前の生活を  
支援する団体です。

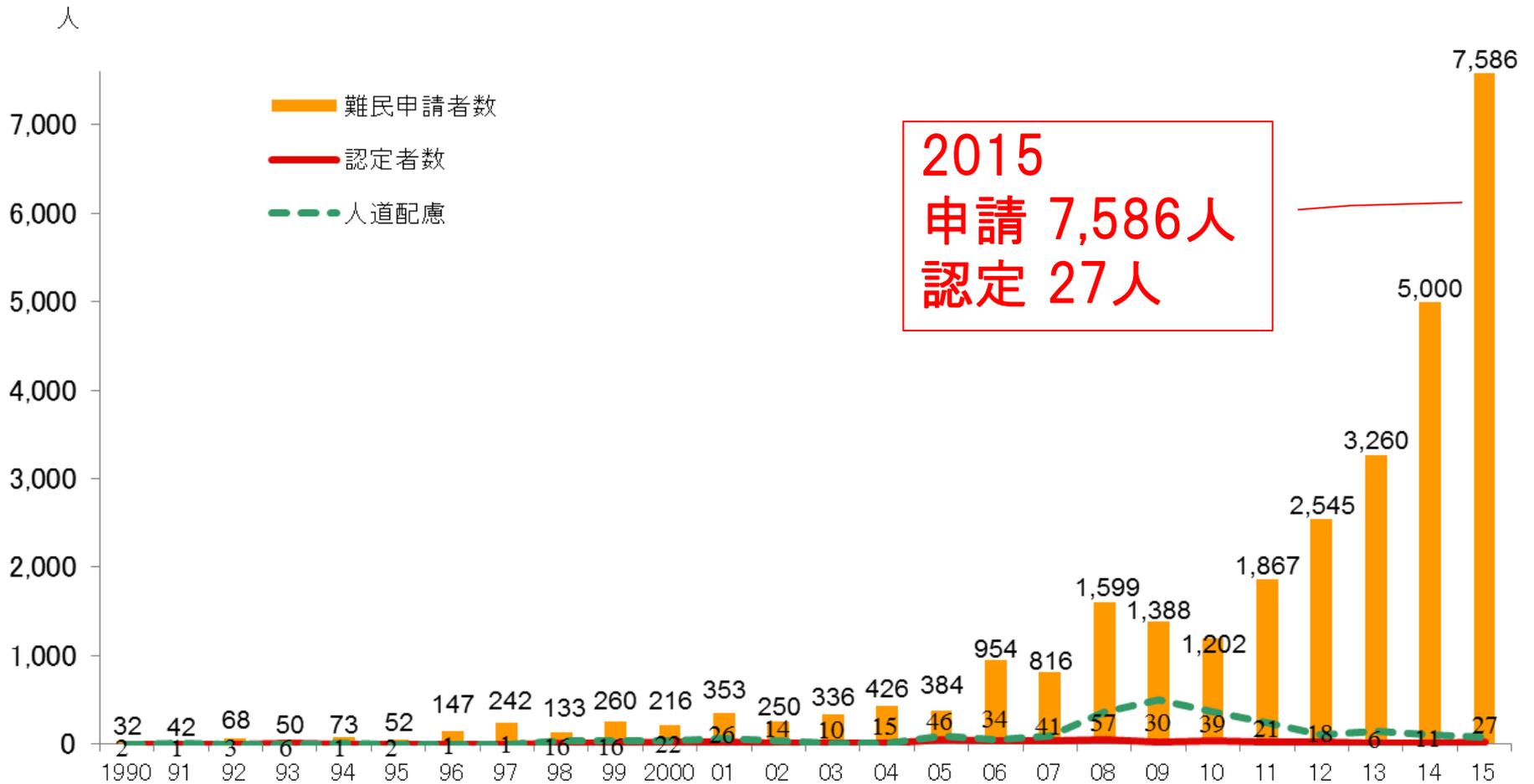
\* 国連難民高等弁務官事務所  
(UNHCR)との事業実施契約パートナー



©JAR

# 日本と難民

# 増える難民申請数、少ない認定数



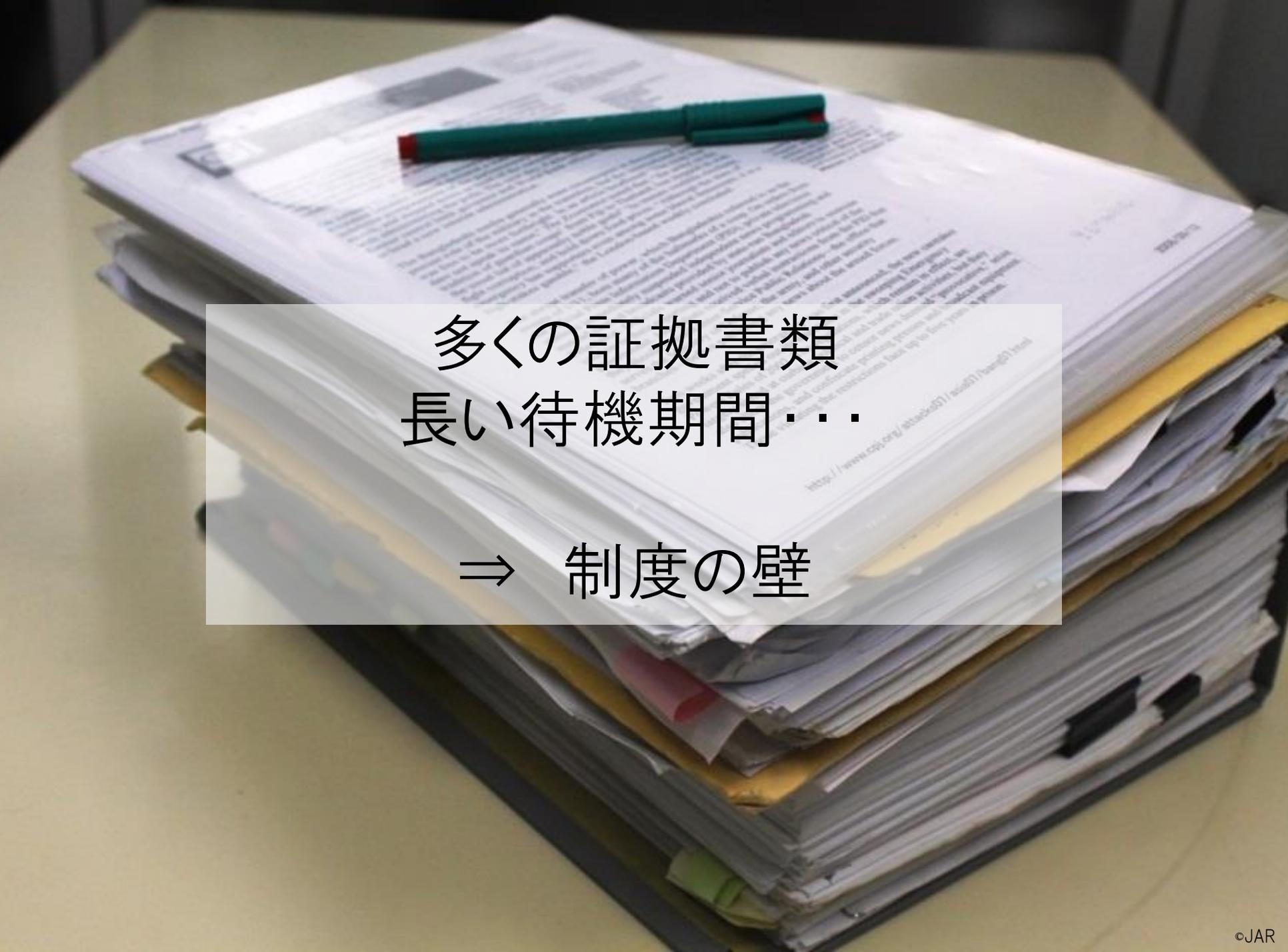
JAR設立

法務省入国管理局 発表資料  
「平成27年における難民認定者数等について」等より

# G7の難民受け入れ(2014年)

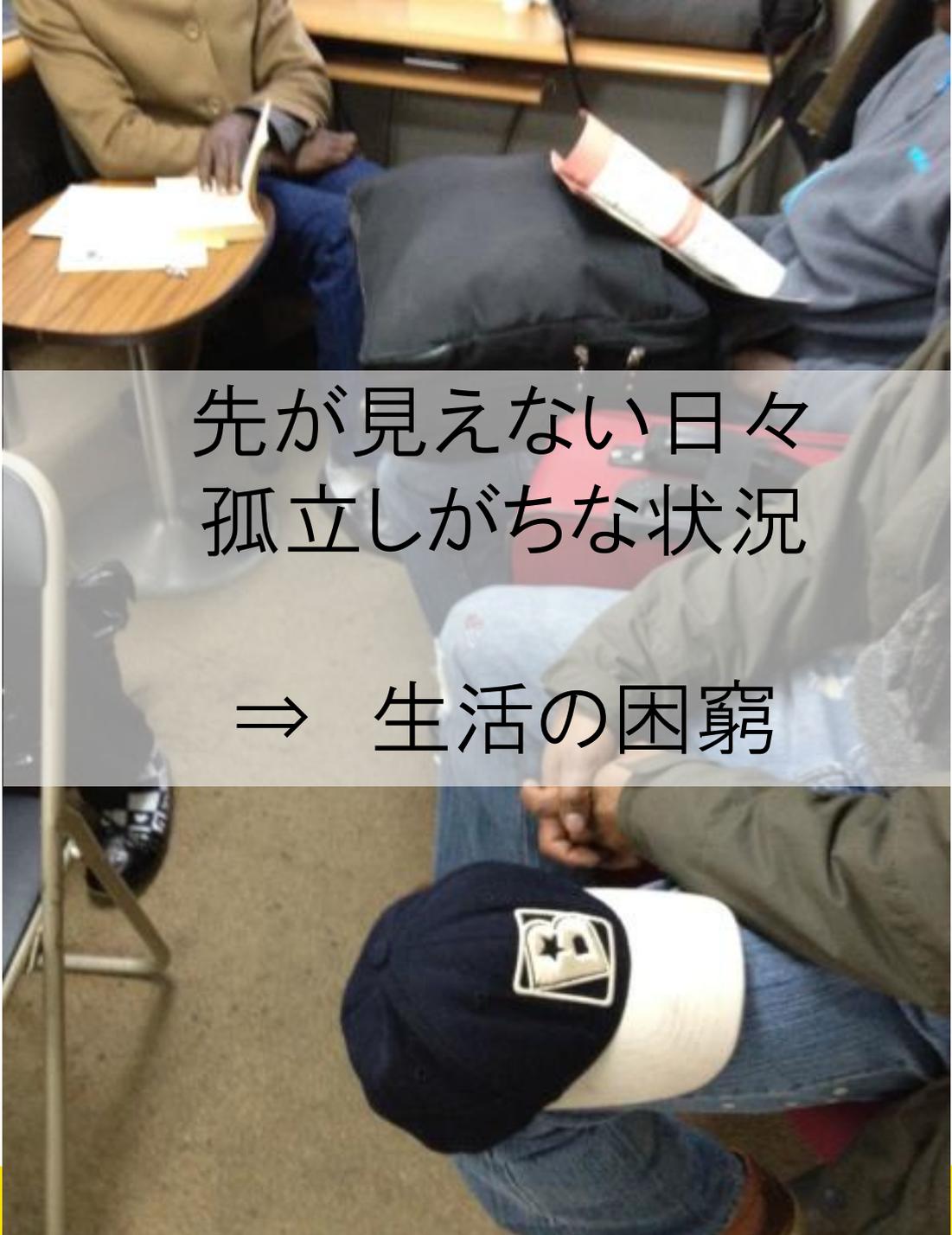
2014年	認定数	認定率
ドイツ	33,310	40%
米国	21,760	70%
フランス	16,636	18%
英国	10,734	36%
カナダ	9,943	56%
イタリア	3,641	10%
日本	11	0.2%

UNHCR 2014 Statistical Yearbookより

A large stack of papers is shown on a desk. A green pen with a red tip lies on the top sheet. The papers are slightly disorganized, with some yellow and pink tabs visible. The background is a plain, light-colored surface.

多くの証拠書類  
長い待機期間・・・

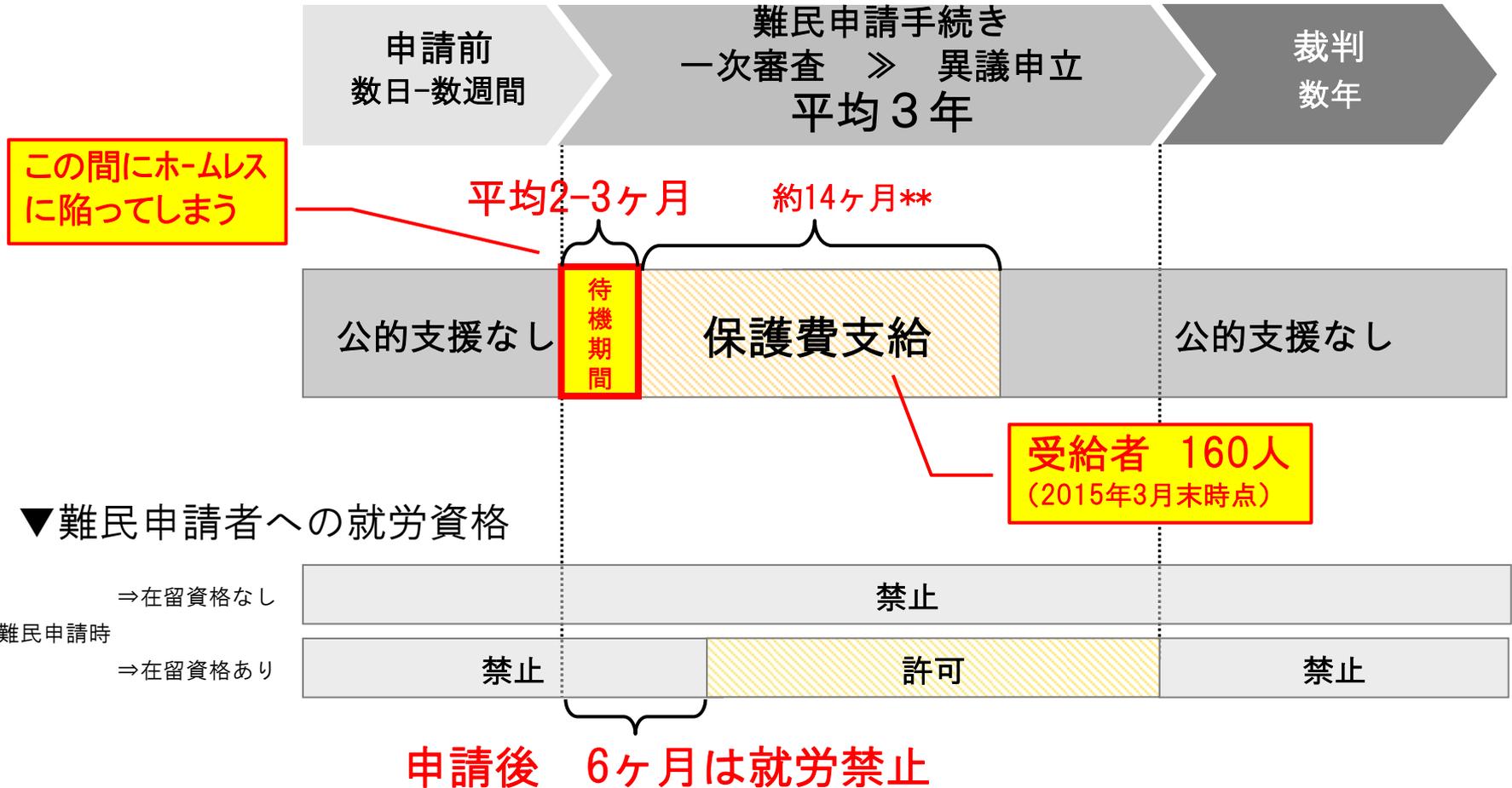
⇒ 制度の壁



先が見えない日々  
孤立しがちな状況

⇒ 生活の困窮

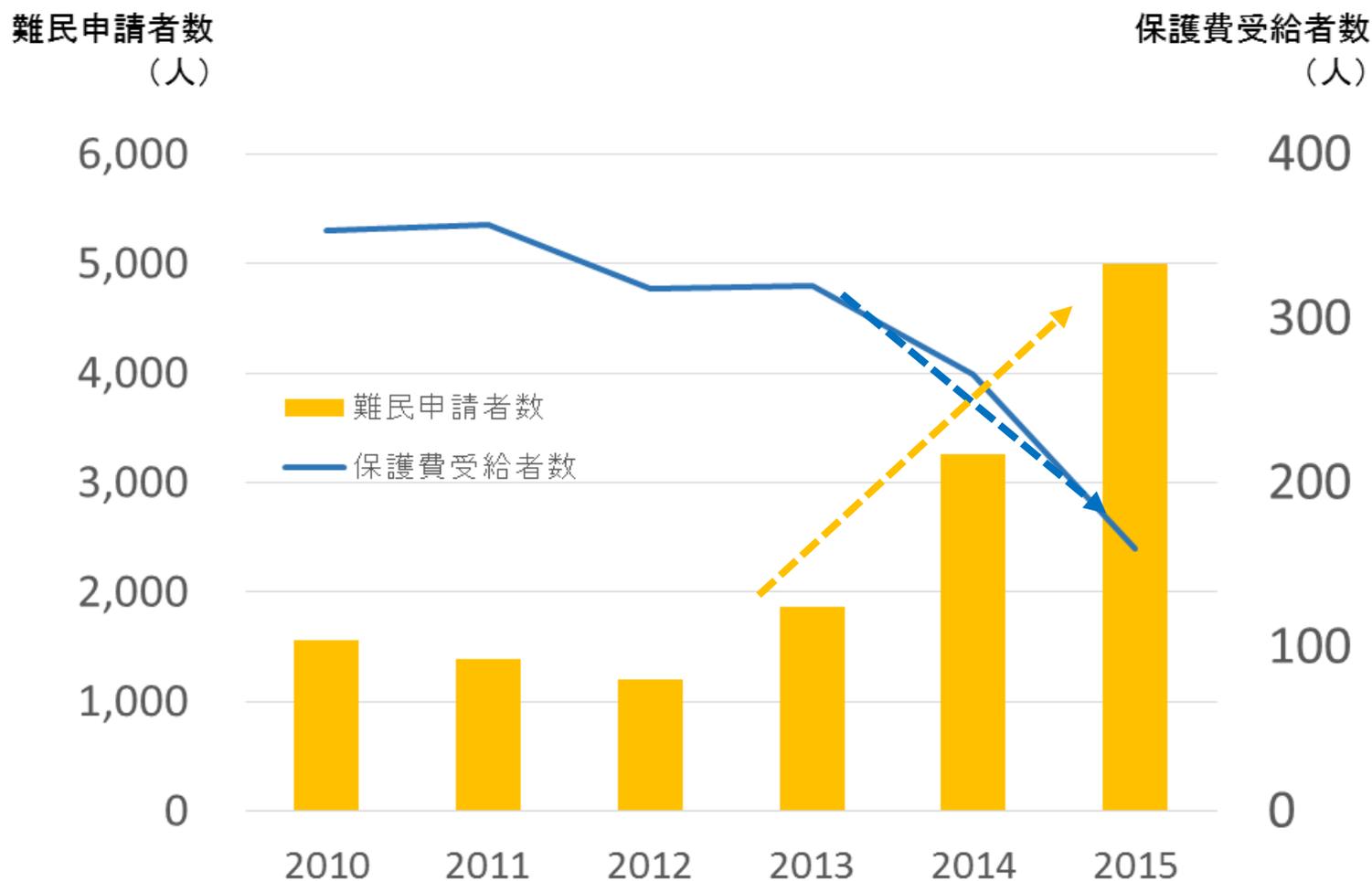
# 難民申請者への公的支援の欠如



\* 外務省は、財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部（RHQ）を通じて申請者への生活支援金を支給。

\*\*（出典）2015年8月10日石橋通宏議員による質問主意書

# 申請数増加に対し、保護費受給者は減少

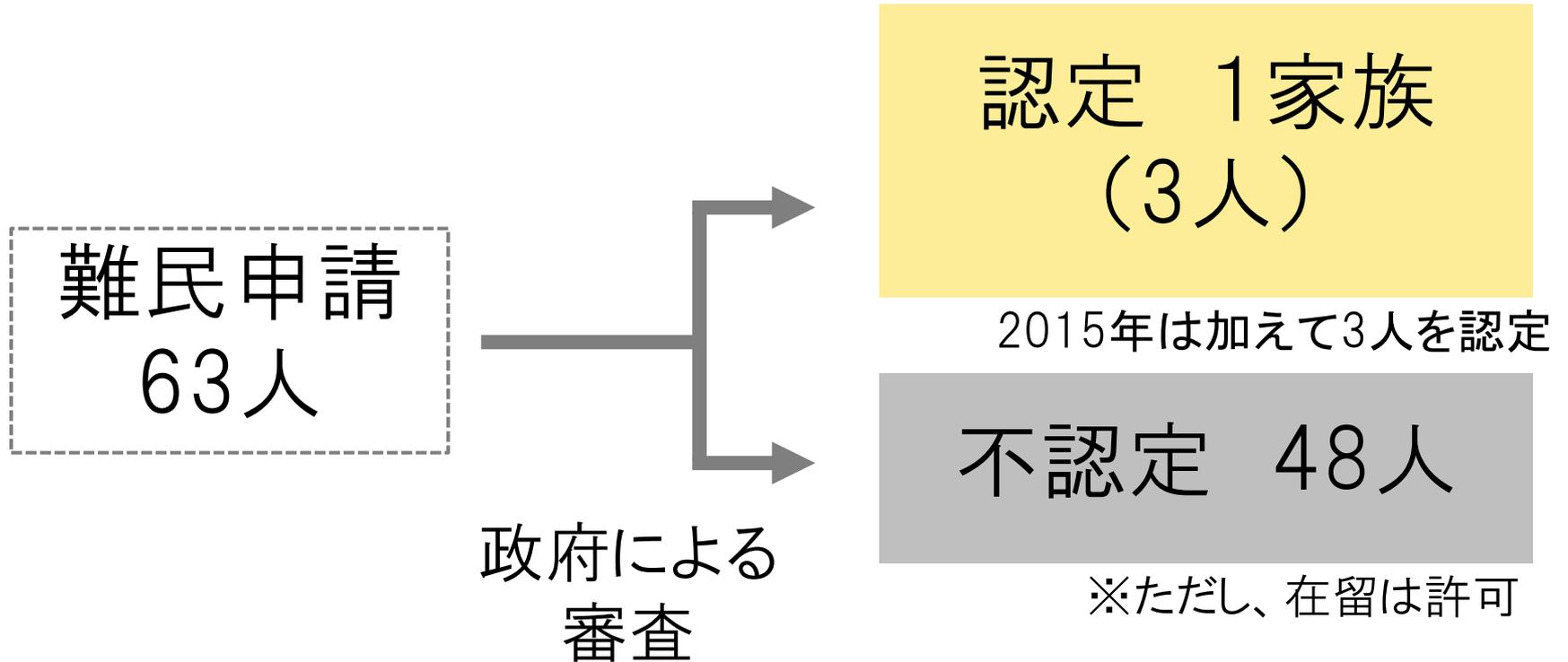


(出典) 2015年8月10日石橋通宏議員による質問主意書／保護費受給数は2014.3末時点

# 日本へ逃れたシリア難民



# シリア難民にも厳しい状況



※2015年11月6日現在  
アムネスティ日本ウェブサイトより  
2015年の認定3人については法務省入国管理局 発表資料  
「平成27年における難民認定者数等について」より追加

# 他国でのシリア難民認定率

- ・ カナダ:96%
- ・ ドイツ:87%
- ・ イギリス:91%
- ・ アメリカ:94%

UNHCR 2014 Statistical Yearbookより

ドイツはNew Applications

イギリスは First instance decisions

アメリカはUS Citizenship and Immigration Services  
の項目より抽出

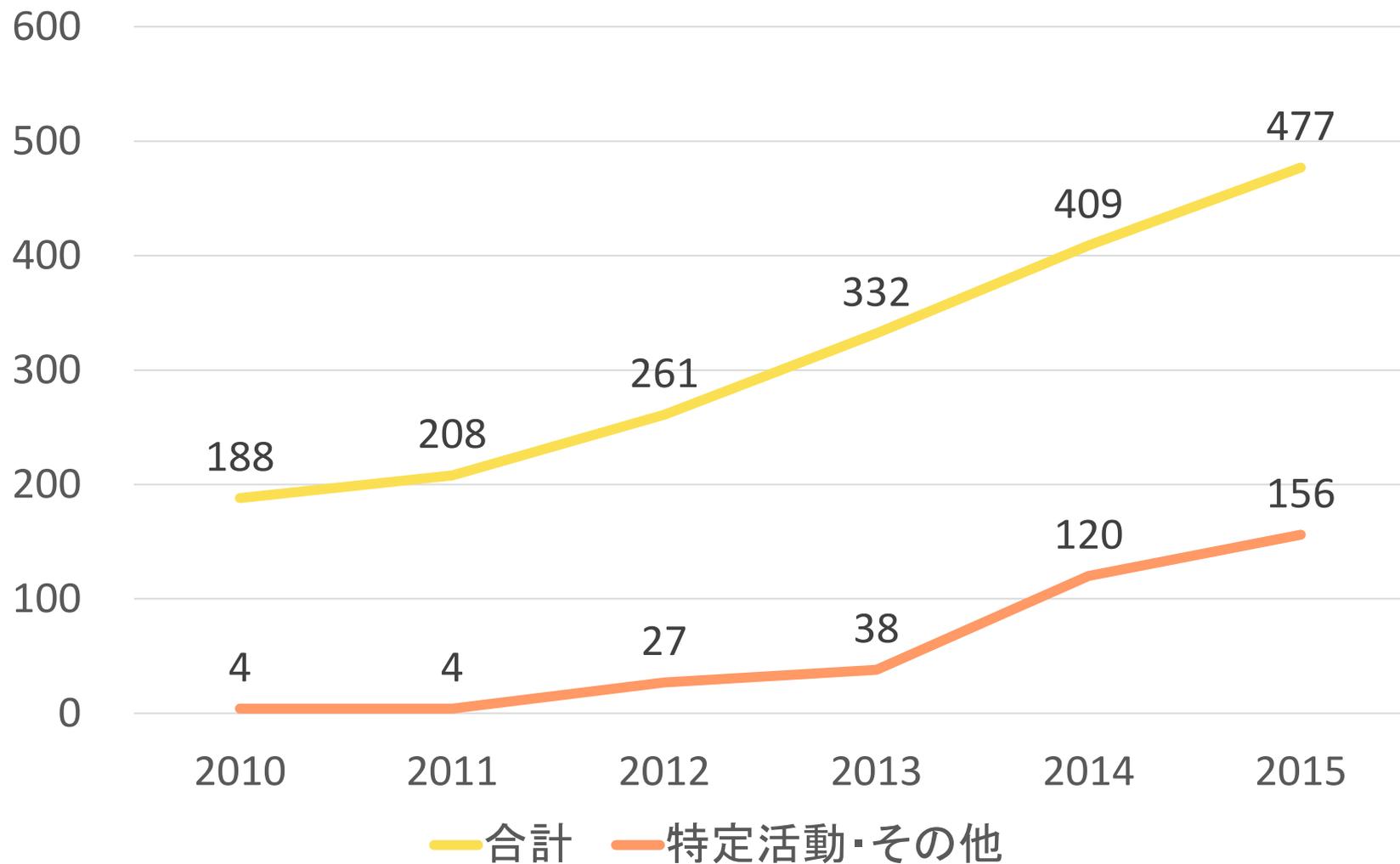
# 日本における難民への定住支援等の比較

	在留資格	政府の 定住支援 (日本語、 就労支援等)	家族の 呼び寄せ	難民旅行 証明書 (パスポート)	就労 許可	国民 健康 保険
難民認定	定住者 5年	○	○	○	○	○
難民不認定 ↓ 人道配慮あり	特定活動 1年	×	△	×	○	○

\*JARの実務を前提に作成

\*「特定活動」の場合の家族呼び寄せは、制度的には難しいが、  
2015年1月にシリア難民のケースで実現したため△とする

# 在留シリア国籍の人数推移<2010-2015>

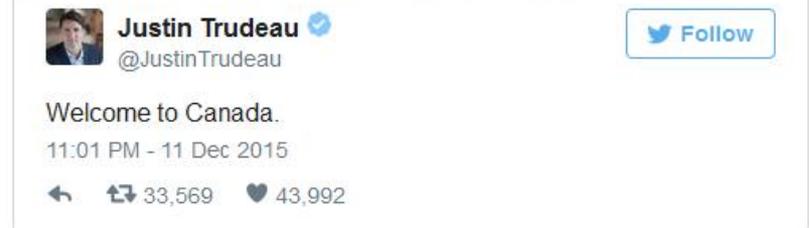


法務省【在留外国人統計(旧登録外国人統計)統計表】より

# カナダの事例

# カナダ

- 首相が3月末までにシリア難民2万5千人の受入れを表明。
- 第一陣を首相が空港にて出迎え。
- 民間主導による受け入れもあり。
- 昨年9月以降民間からの問い合わせも急増（メールのみで1カ月1万人から）



©JAR

# 難民に関するよくある疑問 (抜粋)

Q5:難民は社会にとって「危険な存在」？

難民こそが暴力とテロの犠牲者です。

Q6:難民は社会の「重荷？」

新たな土地で生きるために必要な支援を受けた後は、成人であれば働き、納税し、社会の中で自立していく人たちです。

Q8:難民問題解決には、母国を平和にする  
取り組みこそやるべきなのでは？

難民流出の根を止める取り組みは必要ですが、平和で安全な国が、積極的に難民を受け入れ、難民に尊厳や希望を回復する機会を提供することも必要な取り組みです。

フォトグラファー宮本直孝 × 難民支援協会 共同企画  
Portraits of Refugees in Japan  
難民はここにいます。

6/20～26@表参道駅



ありがとうございました。

[www.refugees-in-japan.com](http://www.refugees-in-japan.com)



@ja4refugees